

SOMPOインスティテュート・プラス

「SOMPO Institute Plus Report」Vol.88発行

非財務情報開示、外国人政策テーマに

SOMPOインスティテュート・プラスは3月31日に、「SOMPO Institute Plus Report」の最新号(88号)を発行した。同レポートは年2回発行されており、保険事業を取り巻く環境変化を幅広くレポートしている。

最新号では、非財務情報開示、外国人政策に関する2本の論文を掲載している。いずれも世の中で注目が高まっているテーマであり、今後の経営環境を見通していくための情報として参照したい。最新号の内容は次の通り。

①非財務情報開示が迫る企業行動の変容：近年の国の成長戦略では、企業行動の変容を迫るツールとして企業情報開示が使われている。情報開示に必要な最小限の対応を行うことで済ませること(形式的遵守)も可能だが、本来の意図は企業の成長(企業価値の向上)にある。本稿では、近年注目される非財務情報開示について、情報開示の背景や経緯、情報開示が企業の行動を変



えるメカニズム、企業価値を作り出す要素を概観している。その上で、企業が自らの成長ストーリーと連動させつつ情報開示ルールに対応する必要性を唱えている。

②高市政権が進める「秩序」重視の外国人政策：高市政権が進める「秩序」重視の外国人政策は、外国人の受入れとめた「外国人の受入れ・秩序ある共生のための総合的対応策」では、出入国在留管理や各種制度の適正化など「秩序」に係る施策が大幅に拡充された。一方で、秩序の維持を前提としながらも、在留外国人と互いに共生

策：高市政権下で、秩序を重視した外国人政策の取り組みが進みつつある。今年1月に政府がとりま

するかどうかという視点も重要で、今後の高市政権には、目指す共生社会の姿やそこへの道筋を国民に示すことが求められる。本稿では、これまでのわが国における外国人受け入れの経緯や特徴を整理した上で、最近の外国人政策について概説している。

「秩序」重視の外国人政策を進める

「安心・安全・健康」であふれる未来」の実現を指している。

「SOMPO Institute Plus Report」は、同社のWEBサイト(htt